

前立腺癌密封小線源永久挿入術を受けられる方へ

	入院日（　／　）	前立腺密封小線源永久挿入術当日（　／　）		術後1日（　／　）	退院日（　／　）
1，治療	・10時に入院となります。（入院受付にお越し下さい）。 ・15時頃、放射線技師が管理区域の設定を行います。 ・血栓予防の弾性ストッキングのサイズ測定をします。	《手術前》 ・8時頃、浣腸をします。 ・理学療法士による股関節のストレッチがあります。 ・治療1時間前から血栓予防の弾性ストッキングを履いていただきます。	《手術後》	・8時～9時頃、放射線技師による線量測定があります。（検査のために管理区域から出て良いかを確認します）。 ・尿管抜去後に理学療法士による股関節のストレッチがあります。	・退院までに放射線技師が測定に伺います。脱落線源がないことを確認後、10時に退院となります。 
	・今まで内服していた薬を確認します。医師の指示に従い内服します。 ・昼食後に下剤を内服します。 ・20時頃に下剤を内服します。	・10時頃に点滴があります。 ・13時に治療室に入室します。	・20時頃に抗生剤の点滴があります。	・中止していた内服薬を再開します。 ・抗生剤の内服が開始になります。 ・泌尿器科から尿道を拡げる薬が処方されることがあります。	
2，検査	・検温と除毛をします。	・10時頃に検温をします。	・小線源挿入後に放射線治療科にてCTを撮影します。 ・帰宅1時間後、2時間後、夕方に検温をします。	・6時頃と10時頃と18時頃に検温をします。 ・8時20分～9時頃、X線撮影があります。放射線管理上、必ず車椅子で検査に行きます。	・6時頃に検温をします。
3，食事	・夕食は18時頃お部屋で食べて頂きます。 ・21時から絶食になります。（水分はとってかまいません。）	・6時から絶飲食になります。	・帰宅3時間後から飲水が可能になります。	・朝食から開始。朝食、昼食、夕食はお部屋で食べて頂きます。 ・尿管を抜いた後は水分を多めにとって下さい。	・朝食はお部屋で食べて頂きます。
4，排泄	・制限はありません。	・手術中に尿の管を入れます。		＊尿管を抜いた後で排尿する時は室内にある蓄尿瓶に貯めてください。（排泄は自室でして下さい） ＊線源が尿中に出ていた場合は看護師にお知らせ下さい。	
5，活動	・活動の制限はありません。	・活動の制限はありません。		・放射線技師による線量の確認後、病棟内での歩行は出来ますが、なるべく室内でお過ごし下さい。（病棟外へは車椅子での移動となります）。	・病棟内での歩行は出来ますが、なるべく室内でお過ごし下さい。（病棟外へは車椅子での移動となります）。
	放射線管理区域設定中は病室外に荷物を持ち出すのに制限が掛かります。不要な荷物の持ち込みは控えてください。				
	放射線管理区域 				
6，清潔	・除毛後にシャワーを浴びてください。			・体を拭かせていただきます。	
7，説明	・入院中の生活について説明します。 ・薬剤師より説明があります。 ・栄養指導があります。	・蓄尿の説明をします。	・痛みがある場合には看護師にお知らせください。	・退院後の生活について、医師・看護師・放射線技師より、放射線治療科外来にて説明があります。必ず車椅子で検査に行きます。 ・ご家族は10時までに、直接放射線治療科外来までお越し下さい。 	・退院後、稀に線源が尿や精液中に排泄される場合があります。気づいた場合は、素手で触らずスプーンなどで回収し、お渡しした線源回収容器に入れ、直接、放射線治療科まで必ずご持参下さい。 